

業績調書(様式第2号)記入にあたっての注意事項

推せん理由について以下に注意して頂きたい事項を記載しました。いずれの項目も目安2行にてご記入ください。また、成果物等のあるものは添付してください。(要素)については、記入の際のポイントを示したものですので、併せて御確認ください。

(1) 勤務成績を含めた勤務状況

(要素)

- ・本人の保育に対する姿勢(人柄を含む)や勤務成績、勤務状況。

(2) 保育にあたって優れている点。

○工夫した保育内容

(要素)

- ・ひとりひとりの発達段階に応じた保育。
- ・発達状況に配慮した指導計画の評価や見直しを適切に実施し、職員会議等でも問題提起を行う等保育の向上に努めている等。

(要素)

- ・豊かな人間性を持った子どもの育成。
- ・子どもが健康、安全で情緒の安定した生活ができる環境や遊びの工夫等。

(要素)

- ・地域の実態、保護者の意向等を考慮した保育。
- ・核家族や兄弟が少ない地域での異年齢保育の実施や、お年寄りとの交流等地域との接点を取り入れた保育。

○障害児の保育

(要素)

- ・ひとりひとりの子どもの障害特性の理解及び障害特性に対応した援助等。
- ・障害児及び障害の恐れのある児童の特性に合わせ、園での生活についての計画を立案し、障害のない子どもに対して、障害児や障害の恐れのある児童への関わり方について配慮がされている。また、保護者に障害児に関する適切な情報を伝えるための取組みを行っている等。

○乳児の保育

(要素)

- ・安全に十分配慮し、個人差に応じて欲求を満たす等保育士との関わりを重視。

- ・担当保育士と保護者が接する機会を多くつくる、連絡帳の記載内容の配慮等保護者の不安の解消を図るとともに、乳児の情緒の安定を図る努力をしている等。

○人権に配慮した保育

(要素)

- ・文化の違いや性差への配慮。
- ・研修に参加報告し、園内研修で共通理解に向けて努力している等。

○乳幼児の状態の把握

(要素)

- ・虐待を受けている子どもの早期発見のためのポイントの作成や、得られた情報が速やかに関係機関に届く体制作りのまとめ等。

(3) 保育技術についての調査・研究で成果をあげた点

(要素)

- ・研修会、研究会への参加状況及びその成果（報告書等あれば御提出ください。）や日常的な取組み等。
- ・候補者自身の経験をまとめた援助方法等施設内で活用している文章等。

(4) 後進指導育成の状況

(要素)

- ・方法、指導力等。特に、園内での研修会の開催や勉強会の開催等保育士の指導育成面における取組み等。

(5) 保育士会活動等

(要素)

- ・現在までの保育士会の参加状況、役員暦等。
(保育士会がなければその旨を記入してください。)

(6) 地域の保育相談・助言等の状況

(要素)

- ・乳児、幼児等の保育に関する地域からの相談への対応状況、助言等。

(7) その他

(要素)

- ・上記以外で特に高く評価できる点。
- ・保育活動を通じ、地域から感謝された事項、災害を未然に防いだ等の事項。